

シリーズ  
学校・園では今  
16

# すべての中学校区で行われています！ 中学校区子ども人権フォーラム

## 子ども人権フォーラムって何なの？

- 自分たちの身の回りや社会にある人権課題について話し合い、自分の考えや願いを確かめ合ったり、深め合ったりする中で、差別をなくしていこうとする生き方を考える。
- 普段の学校生活の中でおかしいと思っていること、それに対する自分たちの思いや考えを語り合う中で、学校や校種を超えたつながりをつくる。

これらを目的として、年に1回、中学校区ごとに小学生と中学生が集い、身近な人権課題などをテーマに話し合いをしています。

## 誰が参加しているの？

主に小学6年生の児童と中学生が参加しています。校区によっては、全員参加のところもあれば、代表者同士で行うところもあります。

## どんなテーマで話し合っているの？

身近な人権問題や、いじめ、仲間のつながりなどをテーマに、子どもたちがそれぞれの学校で話し合ったり、学んだりを基に話し合っています。

### 《昨年度のテーマから》

- 信頼できる友達・仲間とは
- 今、私たちにできること。違いを認め合うために
- 障がい者の人権
- 外国人への決めつけ
- 人権学習を通して学んだこと



子ども人権フォーラムの様子

## どんなふうに進められているの？

設定したテーマに基づき中学生が進行し、グループで討議する形式が多いです。各学年が取り組んだ人権学習の発表や、人権講演会・代表児童生徒のパネルディスカッションなどの形で進められることもあります。

話し合いの中で、小学生から中学生に「こうした方がいいと分かっているけど、次に自分が何か言われるのではないかと」と思うと勇気が出ない。先輩たちならどうしますか」などの問い掛けに対し、中学生が自分の経験を通して答えていく姿が見られます。

また、参加した子どもたちが、フォーラムで学んだことや感じたことを、それぞれの学級や学校で報告するだけでなく、自分の学級や学校の取り組みをリードしていく姿があります。

津市では全ての中学校区で、子ども人権フォーラムを小学校から中学校卒業までの9年間を通して積み上げていく人権教育の取り組みの一つとして位置付けています。

今後もこの取り組みが、子どもたちの生き方に響くものになるよう、その内容の充実を図っていきます。

## 子ども人権フォーラム参加者の声

- 見た目判断してはいけない。一人一人がお互いを分かり合うこと、それぞれの居場所をつくるのが大切だと感じた。
- 自分の周りでいじめが起きないように、自分もできることをしていこうと思った。
- 自分がしてしまったこと、自分がされたことを発表してくれました。あまり話したくないこともあったのに、私たちが信用して話してくれたのは、とてもうれしかった。
- みんなが真剣に見てくれたり、うなずいてくれたりして、聞いてもらうことを気持ちよく感じました。
- 中学生の先輩や他の小学校の人たちと話し合いをして、もっと人の気持ちを考えて行動したいと思った。